

# 令和3年度事業報告

公益財団法人 日本相撲連盟



# 事業総括

公益財団法人日本相撲連盟

## 令和3年度事業の主たる成果と課題

### 1. 競技会の企画運営

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で46の主要大会のうち第70回全日本相撲選手権大会等の23大会を、本連盟ガイドラインに基づく感染防止策を徹底して開催した。

特に全日本女子相撲選手権大会、全国都道府県中学生相撲選手権大会、全国小学生相撲優勝大会、男女全国わんぱく大会を2年ぶりに開催できたことは、相撲の普及・振興と競技力向上に大きな成果を収めることができた。

(公財)日本スポーツ協会、(公財)日本オリンピック委員会、(公財)日本相撲協会、独立行政法人日本スポーツ振興センター、日本相撲振興会その他多くの関係団体のご支援と、開催地のご理解、役員の方々、関係各位のご尽力に心から感謝いたしたい。

新型コロナウイルス感染症の影響で、三重県伊勢市において開催予定であった第76回国民体育大会相撲競技会、ポーランド・クロトシンで開催予定であった「第17回世界ジュニア相撲選手権大会」「第9回世界ジュニア女子相撲選手権大会」「第24回世界相撲選手権大会」「第15回世界女子相撲選手権大会」等の大会が中止となったが、アフターコロナに向け企画運営方法をあらためて検証の上、より充実した大会として再開を目指したい。

### 2. 会員登録の拡大と段位取得・昇段の奨励

会員登録制度は、アマチュア相撲を関係者全員で支えていく意識の表れであり、アマチュアとしての資格を確保するものです。競技会への出場、役員への就任、段位の取得・昇段、公認審判員資格の取得等、連盟に関する事業に参加するには会員登録が必要です。本年は、昨年をわずかに上回り4,744人が会員登録を行ったが、実際に活動をしている者の整合が取れていないのが実態です。関係者全員に理解を深め、実態に合わせた登録者数を確保するとともに「する」だけでなく「見る」「支える」人々が連盟の事業に参画できる環境を作っていくことが重要である。

また、段位取得・昇段についても、戦歴、実績、連盟貢献度が段位に整合しない方が多数みられるのが実態である。段位審査基準を満たす経歴の持ち主に対し、段位取得・昇段の奨励を進めていきたい。

### 3. 女子相撲の普及促進

本連盟では、相撲を誰もが楽しめるスポーツとして普及していく方針にのっとり、女子相撲の普及振興を積極的に推し進めてきたが、「男子の競技」としての先入観が根強く残っており、普及が思うように進まないのが現状である。

本年は、昨年中止した全日本女子相撲選手権、女子わんぱく相撲全国大会を開催し多数の選手が参

加したが、まだまだ底辺の拡大が必要である。

令和3年度は、あらたな取り組みとして女子トップ選手の企画運営による普及活動が行われた。(2. 相撲の普及・指導に関する事業(5) その他⑤参照)このような活動を推進し、国体正式競技採用を目指し競技者拡大をはかりたい。

#### 4. 小中学校での体育授業・部活動および地域のクラブ・道場等での相撲の拡充

令和3年度は、中学校体育授業での相撲の普及と指導者の育成をめざし、第8回全国相撲指導者研修会を、11月19日(金)～21日(日)に日本武道館研修センターにおいて、新型コロナ感染症防止対策として参加者数を25名に制限し、開催した。また、中学校や小学校での体育授業に加え、学校での部活動や地域のクラブ・道場等の活動での武道指導を網羅した、日本武道協会『少年少女武道指導書』(DVD付)刊行に向けて、相撲編の原稿を提出した。

今後は、学校体育での相撲の普及を図るために、各加盟団体関係者の協力を得て、都道府県の教育委員会等への働きかけを進める必要がある。また、令和4年度に採択されたスポーツ庁委託事業の採択を契機に、中学校相撲授業における外部指導者の活用と相撲授業のさらなる拡充を推し進めていくことも課題としている。

#### 5. ガバナンスコードへの対応

9月下旬に「公益財団法人日本相撲連盟 スポーツ団体ガバナンスコード遵守状況の自己説明」をホームページに掲載、本連盟のガバナンスコードへの対応を公表した。また、3月下旬に「公益財団法人日本相撲連盟 中長期計画2022～2026」をホームページで公開した。

#### 6. 財政基盤の確立と事務局体制の強化

「公益財団法人日本相撲連盟 中長期計画2022～2026」の中で「マーケティング」「財務の健全性に関する計画」を策定した。

また日本相撲連盟事務局と支部団体との円滑な事務手続きを推進するため、3月中旬に理事長・事務担当者研修会を開催した。今後も研修会を継続して行い、情報共有をはかりたい。

以上

## 令和3年度事業報告

### 1. 会務報告

評議員会	2回	理事会	3回
常務理事会	22回	段位審査委員会	3回
審議委員会(倫理・資格・懲罰委員会)	3回	選手委員会	1回

第1回常務理事会	日相連会館会議室	4月 6日
第2回常務理事会	〃	4月20日
第3回常務理事会	〃	5月11日
第4回常務理事会		5月25日
第5回常務理事会		6月 8日
第6回常務理事会		6月15日
第1回倫理・資格・懲罰委員会	書面	6月11日
第1回理事会	日相連会館会議室	6月19日
定時評議員会	〃	6月19日
第1回段位審査委員会	〃	6月19日
第7回常務理事会	〃	7月 6日
第8回常務理事会	〃	7月20日
第9回常務理事会	〃	9月 7日
第10回常務理事会	〃	9月21日
第11回常務理事会	〃	10月 5日
第12回常務理事会	〃	10月19日
第2回倫理・資格・懲罰委員会	書面	10月29日
第13回常務理事会	日相連会館会議室	11月 2日
第14回常務理事会	〃	11月16日
第1回選手委員会	日本武道館研修センター	11月20日
第15回常務理事会	〃	11月30日
第2回段位審査委員会	〃	12月 4日
第16回常務理事	〃	12月14日
第2回理事会	〃	12月25日
第17回常務理事会	〃	1月18日
第18回常務理事会	〃	2月 1日
第19回常務理事会	〃	2月15日
第20回常務理事会	〃	3月 1日
第3回倫理・資格・懲罰委員会	(書面)	3月 4日
第21回常務理事会	日相連会館会議室	3月 8日
第3回理事会	〃	3月12日
第2回評議員会	〃	3月12日
第3回段位審査委員会	〃	3月12日
第22回常務理事会	〃	3月22日

## 2. 相撲の普及・指導に関する事業

### (1) 第38回全国小・中・高等学校、大学及び社会体育相撲指導者研修会

共 催 (公財)日本相撲協会

期 日 令和3年8月17日(火)～20日(金)

会 場 国技館相撲教習所・草津相撲研修道場

上記の日程で計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった。

### (2) 第8回全国相撲指導者研修会

共 催 (公財)日本武道館

期 日 令和3年11月19日(金)～21日(日)

会 場 日本武道館研修センター

参加者 25名出席(教員参加は4名)

研修内容

①指導法概要	桑森委員会座長
②実践研究(グループ討議)	上村委員、村田委員、太田委員
③指導計画	堀内委員
④安全管理・指導	南会長、安藤委員
⑤実践事例報告(下吉田中学校の事例)	廣瀬講師
⑥実績研究(勝浦中学校の生徒への指導)	浦嶋参事、各委員
⑦実践研究	村田委員
⑧審判法	浦嶋参事、堀内委員

### (3) 令和3年度学校相撲実技指導者講習会(中学校体育教員の講習会)

共 催 スポーツ庁

期 日 令和4年2月中旬予定

会 場 千代田区立スポーツセンター 大会議室・相撲場他

上記の日程で計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、  
昨年引き続き中止となった。

### (4) 公認相撲コーチI養成講座(専門講座)

主 催 (公財)日本スポーツ協会

期日・会場 令和4年2月5日(土)～6日(日)

日本相撲連盟会館会議室(ZOOM会議)

- 研修内容
- ①「相撲の特性I」
  - ②「日本相撲連盟の指導理念とその組織」
  - ③「ドーピング防止I」
  - ④「相撲の安全管理I」
  - ⑤「対象に応じた指導プログラムI」
  - ⑥「現場における救急処置法I」

講 師 櫛原常務理事、浦嶋常務理事、満留久摩医学科学委員  
村田光央競技委員、村田安啓競技委員  
受講参加者 8名

(5) その他

①地方青少年武道錬成大会（主催 日本武道館他）

1 1月19日（金）～20日（日） 鳥取県鳥取市 講師 平野昭二、成松由紀夫  
1 1月20日（土）～15日（日） 鹿児島県出水市 講師 南 博、中元 優  
1 2月18日（土）～19日（日） 静岡県藤枝市 講師 横山薫、高橋 優毅  
新型コロナ感染症防止のため、当初の計画より延期した形で実施した。

②地域社会相撲指導者研修会

1 1月20日（土）～21日（日） 島根県松江市 講師 小笠原敦、門脇真吾  
新型コロナ感染症のため当初の計画より延期した形で実施した。

③少年相撲教室

（主催 教育委員会 後援 日本相撲協会・日本相撲連盟）  
新型コロナ感染症のため、全て中止となった。

④中学校武道事業(相撲)指導法研究事業(公益財団法人日本武道館)

日 時 令和4年1月15日(土)～16日(日)

場 所 日本武道館大会議室

出席者 日本相撲連盟から推薦された指導法研究者10名と事務局1名、日本武道館2名

内 容 第8回全国相撲指導者研修会報告書の校正等

新学習要領に基づく学習の手引きの作成及び検証等

⑤「Sumo Show Time」開催

日 時 令和4年3月13日(日)

場 所 東京スポーツプレイランド

出席者 女子トップ選手他一般

内 容 相撲インスパイアトレーニング、エキジビションマッチ、相撲体験会

3. 競技力向上に関する事業

(1) 令和3年度全日本ジュニア強化合宿

当初4月1日（木）～3日（土）日本大学相撲部道場で予定していたが、  
新型コロナ感染症が終息せず、中止となった。

4. 競技会の開催・審判員の養成に関する事業

(1) 相撲競技会の開催

新型コロナウィルス感染症対策を徹底し46主要大会のうち23大会を開催した。

(別添大会記録参照)

(2) 地域振興事業

JOCジュニアオリンピックカップ・第34回全日本小学生相撲優勝大会は、2年ぶりに開催(12月5日)それに伴いブロック予選会は実施した。(東海ブロックを除く。)

ブロック名	期 日	会 場
北海道	10月7日(日)	札幌市中央体育館相撲室
東北	8月15日(日)	美郷町南公園屋外相撲場
関東	10月17日(日)	川崎市富士見公園相撲場
東海	中止	伊勢市神宮相撲場
関西	8月29日(日)	堺市・大浜公園相撲場
中国	10月24日(日)	岡山市営奥市相撲場
四国	10月17日(日)	春野総合運動公園相撲場
九州	10月17日(日)	鹿児島県吹上浜公園相撲場
北信越	10月3日(日)	石川県立武道館屋内相撲場

(3) 公認審判員の認証

①公認審判員の認証者数

認証月	申請数	合格者
4月	12	12
5月	11	11
6月	7	7
7月	9	9
8月	0	0
9月	0	0
10月	0	0
11月	0	0
12月	0	0
1月	24	24
2月	6	6
3月	1	1
合計	70	70

②ブロック別認証者累計

ブロック名	登録数
北海道	7
東北	2
関東	15
北信越	7
東海	4
関西	5
中国	5
四国	1
九州	22
日学連	2
日実業	0
高体連	0
合計	70



(4) 審判講習会の開催

主催	場所	講師	開催日
1 東京青年会議	国技館・大広間	村田競技委員	4月3日
2 石川県相撲連盟	いしかわ総合スポーツセンター	舩田常務理事	4月18日
3 大分県相撲連盟	楊志館高校	倉園評議員	4月25日
4 富山県相撲連盟	富山県体育協会相撲場	香川参事	6月6日
5 長野県相撲連盟	木曾町民相撲場	安藤競技委員	6月13日
6 東京都相撲連盟	東京農業大学相撲場	安井専務理事	8月1日
7 関西相撲協議会	堺市・大浜公園相撲場	勝田常務理事	8月29日
8 四国相撲協議会	高知市・ホテルSP春野	松廣競技委員	10月17日
9 鹿児島相撲連盟	日置市吹上浜相撲場	倉園評議員	10月30日
10 日本学生相撲連盟	堺市・大浜公園相撲場	服部競技委員	11月5日
11 青森県相撲連盟	青森県十和田商工会館	円子競技委員	11月14日
12 秋田県相撲連盟	美郷町交流センター	佐藤競技委員	11月14日
13 福島県相撲連盟	郡山市中央公民館	岩淵理事	11月28日
14 佐賀県相撲連盟	唐津市体育の森公園相撲場	浦嶋参事	2月27日
15 栃木県相撲連盟	トコトコおおたら	齋藤常務理事	3月6日

5. 国際競技会への派遣に関する事業

世界的な新型コロナウイルス感染症のため、以下の大会は中止となった。

- ・ 第17回世界ジュニア相撲選手権大会
- ・ 第9回世界ジュニア女子相撲選手権大会
- ・ 第24回世界相撲選手権大会
- ・ 第15回世界女子相撲選手権
- ・ 第14回アジア相撲選手権大会
- ・ 第9回アジア女子相撲選手権大会

6. 会員登録に関する事業

令和2度会員登録

(合計 4,475 名)

小学生	中学生	高校生	大学生	社会人	役員等
1,090	371	992	576	204	1,242

\*令和3度会員登録

(合計 4,744 名)

小学生	中学生	高校生	大学生	社会人	役員等
980	456	944	698	244	1,422

7. 相撲段位の認定に関する事業

(1) 段位の認定に関する事業

申請日 段 位	R3. 6. 19		R3. 12. 4		R4. 3. 12		年 間 合格者	登録者 総 数
	申請数	合格数	申請数	合格数	申請数	合格数		
初段	69	69	184	184	92	92	345	36,518
2 段	40	40	62	62	21	21	123	20,005
3 段	31	31	47	47	14	14	92	17,995
4 段	29	29	36	36	9	9	74	7,273
5 段	3	3	7	7	1	1	11	2,681
6 段	1	1	3	3	5	5	9	1,611
7 段	5	5	1	1	1	0	6	799
8 段	1	1	0	0	0	0	1	186
9 段	0	0	0	0	0	0	0	31
10 段	0	0	0	0	0	0	0	3
合 計	179	179	339	339	143	143	661	87,102

(2) 高段者会入会

	北 海 道	東 北	関 東	北 信 越	東 海	関 西	中 国	四 国	九 州	日 学 連	日 実 業	高 体 連	合 計
人 数	80	251	252	247	99	341	92	109	330	80	23	16	2,009
増 加	0	3	1	1	0	2	0	0	0	4	0	0	11

(3) 名誉段位贈呈

国民体育大会中止のため、名誉段位贈呈は、なし。

(4) 追授段位贈呈

段 位	氏 名	所 属	認 証 日
9	福山 力男	九州相撲協議会	7月 1日
8	松本 欣治	石川県相撲連盟顧問	9月 1日
8	畑中 覚郎	西日本実業団相撲連盟	12月 1日

## 8. 広報に関する事業

(1) 機関誌「ちから」246号を発行した。

今回より主要大会の記録に加え、「選手写真名鑑」「注目選手、クラブ紹介」などの多彩に企画を掲載した。

(2) 「アンチ・ドーピング関連情報」コーナーをホームページ内に設け、啓発活動に努めている。

(3) 「ちから」211号から医科学委員会の協力により「土俵の健康」の連載を継続している。

(4) 相撲教室、相撲道場などを積極的に紹介し、底辺の拡大を図っている。

## 9. 倫理・資格・懲罰に関する事業

(1) 第1回審議委員会（6月11日 書面決議）

①アマチュア復帰の承認（6月6日）

(氏名)	(年齢)	(出身地)	(部屋)	(最高位)	(引退)
石田 哲也	35歳	東京都	尾上	西幕下38	令和2年1月
池田 昂司	16歳	東京都	片男波	東序二段73	令和3年3月

(2) 第2回倫理・資格・懲罰委員会（11月26日 日本相撲連盟会館会議室）

①アマチュア復帰の承認（12月2日 書面決議）

(氏名)	(年齢)	(出身地)	(部屋)	(最高位)	(引退)
隼野ドルジ	35歳	東京都	入間川	東幕下39	平成28年1月

②令和3年度日本武道協議会表彰候補の推薦について

- ・ 武道功労者功労者表彰候補 桑森 真介(日本相撲連盟医科学委員長)
- ・ 武道優良団体表彰候補 東日本学生相撲連盟

令和4年1月10日(祝)の日本武道館の武道始めで表彰された。

③令和3年度日本相撲連盟相撲功労賞受賞者

高 芳晴 (元日本相撲連盟理事、前北信越相撲協議会理事長)

円子 昭浩 (前日本相撲連盟常務理事、前高体連相撲専門部長)

(12月5日(日)両国国技館で開催の全日本相撲選手権大会会場において表彰された。)

(3) 第3回倫理・資格・懲罰委員会（2月26日 書面決議）

①日本相撲連盟 令和2年度優秀団体・個人受賞者

最優秀団体賞 日本体育大学相撲部

優秀団体賞 社会人 該当なし

大学 近畿大学相撲部

高等学校 鳥取城北高等学校相撲部

中学校 宇土市立鶴城中学校相撲部

女子相撲 静岡県相撲連盟

最優秀個人賞 中村 泰輝(日本体育大学)

優秀個人賞 社会人 松園 大成（日本体育大学職員）  
 大学 川副 圭太（日本大学）  
 高等学校 落合 哲也（鳥取城北高等学校）  
 中学校 西出 大毅（和歌山県・和歌山市立西和中学校）  
 女子相撲 久野 愛莉（石川県）

（3月12日開催の令和3年度第2回評議員会の席上で表彰された。）

## 10. 医科学に関する事業

### (1) ドーピング検査の実施

月 日	大 会 名	検体数	会 場
12月5日	全日本相撲選手権大会	8	両国・国技館（東京）

### (2) アンチ・ドーピング啓発講習会の開催

新型コロナウイルス感染症のため、各大会が中止、延期となり、開催されていない。それに伴い各団体には、啓蒙のための冊子などを配布した。

## 11. コンプライアンス・ガバナンス

公益財団法人として、「法令・定款に則った財団運営」に常時配意し、公正な運営に努めた。

## 12. 役員の変替

### (1) 理事改選(6月19日)

#### ・評議員

(就任) 小笠原敦、川波信親、倉園一雄、下村勝彦、神一生、鈴木智也、西尾保典  
 西村公憲、畑野恒和、服部祐兒、満留 久摩、奈良文彦、小野律子、  
 山田敏紀、田村直也、阿部 智志、西野一代、眞部遥香

(退任) 木崎智久、千葉知明

#### ・理事

(就任) 南和文、田中英壽、藪本雅巳、安井和男、木崎孝之助、齋藤一雄、舛田守、  
 櫛原利明、木崎智久、勝田晃三、八木典彦、倉園真帆、白神治、岩渕昭弘、  
 加々美祐司、寺下富士夫、下野拓夫、辻久美仁、朝岡輝喜、山崎一由、  
 上月浩、平真一、柳内光子、吉川幸生、築比地理絵、太田麻乃

(退任) 川口三郎、円子昭浩、畠中美津男、佐々木力也、橋本真司、正野崎肇、

#### ・監事

(就任) 鈴木なつ未、平里美

(退任) 倉園真帆、平真一

(2)理事の退任(2月24日)

田中英壽、藪本雅巳

1.3.研修会の実施

(1)日本相撲連盟理事長・事務担当者研修会(インターネットによる ZOOM 開催)

期 日 令和4年3月26日(土)  
対 象 都道府県相撲連盟理事長及び事務担当者 合計2名  
研修内容 ・カバナンスコードと日本相撲連盟中長期計画 安井専務理事  
・規則規程の改正について 櫛原常務理事  
・事務手続きについて(選手登録、段位申請  
公認審判員更新・登録、公認審判講習会) 勝田常務理事

(2)日本相撲連盟公認審判員講習会講師養成研修会

期 日 令和4年3月27日(日)  
対 象 ①6段以上で本連盟の公認審判員として10年以上認定されている者  
②4、5段で本連盟の公認審判員として15年以上認定されている者  
研修内容 ・講習会の内容説明 舛田常務理事  
・模擬講習 齋藤常務理事  
・演習 下谷内 参事(競技副委員長)  
結 果 26都道府県 43名に修了書が授与された。  
その内33名が公認の審判員講師として認定予定。

以 上

